

まちおこしの スパイス

おおつば かつら
大坪 桂 隊員
66歳。千葉県より移住

地域おこし協力隊

3年間を振り返って

地域おこし協力隊として3年、私が笠間に関わるようになって6年が経ちました。憧れの田舎暮らしをめざしてワクワクしながら笠間に車を走らせたのが昨日のことのようです。

笠間に来て一番の私の財産は人との出会いです。「笠間ふれあい体験旅行」で子ども達の「民家体験」にご協力を頂いた民家さんは150軒を超えます。農家さん、陶芸家さん、神社やお寺の方、アーティストなど、実に個性的で魅力的な方と笠間でたくさん出会うことができました。

「体験旅行」で笠間を訪れた子ども達・大人は国内外合わせて2251人です。子ども達がお別れの時に見せた涙や心のこもったお礼状は私にとって最高の宝物となりました。昨年はコロナ禍で全て中止となりましたが、コロナ終息後には再開して「人と出会いふれあう感動の場」として体験旅行を続けていきたいと思っています。

また、「民泊」の推進にも取り組み、協力隊最後の年となる昨年10月には、笠間稲荷門前通りの賑わいの一翼を担うべく、ゲストハウス「門前House」を開業し、運営を行っているところです。

協力隊は3月で任期満了となります。今後の課題は持続可能な収益と人材の確保です。これが一番難しいところですが、これまで得た多くの皆さんのご縁を力に、今後も「笠間ふれあい体験旅行」「民泊の推進」「門前Houseの運営」の3つを柱に取り組んでいきたいと思っています。

これまで本当にありがとうございました。そして今後ともよろしくお願
いします。



Note

地域おこし協力隊とは？

地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住（最長3年）し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。

【問い合わせ】
秘書課（内線224）

フェイスブックも
ご覧ください

